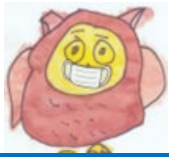




令和6年  
(2024年)  
2月20日  
[号外]

# もちのき



初めての「号外」です！  
謹んで発行します！

(社会福祉法人愛の森広報紙)

【題字:大友 隆弘 さん/イラスト:渡邊 みのり さん】

【書道支援:滝沢景子/イラスト作成支援:岡本陽子】

[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

## 天皇陛下からのご下賜金を賜りました

毎年、天皇誕生日(2月23日)に際し、天皇陛下より社会福祉事業御奨励の思召をもって、各都道府県・指定都市の優良民間社会福祉事業施設又は団体に対し金一封が下賜されます(厚生労働省資料による)。例年、各都道府県等で一施設・法人が選ばれているようです。

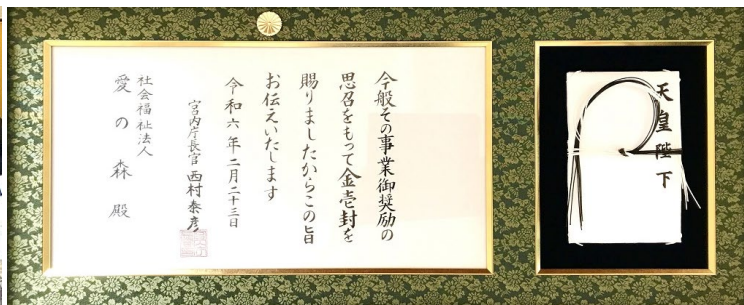
今年は、私ども社会福祉法人愛の森が御下賜金を賜ることとなり、2月20日(火)朝、黒岩祐治神奈川県知事を濱田名誉理事長(法人創設者)、ふれあい会(入所利用者自治会)会長ほかでお伺いし、伝達をお受けしてまいりました。ここに謹んでご報告いたします。

20日(火)午前9時過ぎ、濱田名誉理事長ほか県庁本庁舎の応接室で緊張の面持ちにて待機しているところに、黒岩知事が入室。知事より宮内庁からの伝達文が読み上げられ、次いで伝達書と御下賜金のお渡し。謹んで拝領いたしました。

式が終わると写真撮影と懇談です。知事、名誉理事長、ふれあい会会長を中心に撮影しました。愛の森の「外交大使」でもあるふれあい会会長は、いつものように元気よく自己紹介をしつつ、知事と名刺交換！知事は、ふれあい会会長から学園の日常での様子などを熱心にお聞きになり、また、名誉理事長がオーナーを務めるレストランスキャンディアのご利用経験もあることから、懇談は終始和やかな雰囲気の中、行われました。

今年度は法人設立の母ともいべき濱田前理事長が勇退された、ある意味法人にとって節目となる年。全く予想もしなかった「御下賜金」にただただ恐縮と感謝をするほかありませんが、前理事長の理念・指導のもと、小さいながらも、利用者さん、ご家族、地域の皆様との連携を大切に、地道に運営してきたことが評価されたのではないかと考えております。

改めて法人設立の趣旨である「温かい家庭的な場の提供」、「何ごとも愛を第一とする理念」等を大切にしつつ、精進して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。[國分 隆之]



伝達式の様子





記念撮影 / 知事とふれあい会会長の名刺交換！ / 懇談の様子



学園に戻っての 利用者さん・職員へのご報告

**[ご参考]**

**[法人創設の経緯など]** ～ 社会福祉法人設立認可:昭和62年11月

- 創設者・現名誉理事長濱田八重子(レストラン「スカンディヤ@横浜」オーナー)が、厚木市森の里に、知的障害者支援施設「愛の森学園」を設置したことに始まる。
- 設立趣意書によれば、当時、厚木市森の里地区では、「県央地区最大の都市開発プロジェクト(リビング・アカデミック・テクノロジー・パークの4ゾーン)」が進行しており、そのような「高水準の都市環境の中で」、「園生一人ひとりの個性を大切にし、健康で豊かな人間性を養い、温かい家庭的な生活の場を提供し…(中略)…、「何事も愛を第一とする理念の基に社会福祉法人「愛の森」を設立(後略)」。

**[現況]** ～ 愛の森学園開所:昭和63年5月、その後、逐次サービスを充実

- 「愛の森学園」(入所/40名、短期/2名)
- 生活介護事業(通所/20名)
- 日中一時支援事業
- 相談支援事業所(1か所)
- グループホーム(3か所/16名(含サテライト1名))
- 利用者さん総数:約80名、職員総数:約70名(含非常勤)